

平成25年6月7日

各 位

会 社 名 株式会社マネーパートナーズグループ  
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全  
 (コード番号：8732 東証第一部)  
 問合せ先 取締役 C F O 中西 典彦  
 (TEL. 03-4540-3804)

### 平成25年5月次 月次概況（速報）のお知らせ

平成25年5月次の当社グループの月次概況（連結ベース）を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

#### 記

年 月	平成24年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
営業収益 (単位：百万円)	508	652	638	485	522	596	396	412	404	482	539	542
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	53,593	78,387	112,254	80,325	83,691	100,449	84,479	81,991	78,794	83,547	105,437	113,982
顧客口座数 (単位：口座)	184,260	186,877	189,570	192,007	194,315	196,680	199,051	201,086	203,125	204,938	206,375	207,859
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	37,732	36,935	39,034	41,341	43,321	42,495	43,576	43,005	42,796	41,718	41,219	41,929

年 月	平成25年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
営業収益 (単位：百万円)	639	531	333	565	514							
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	225,359	231,130	146,144	193,096	185,542							
顧客口座数 (単位：口座)	210,010	212,103	213,850	216,178	218,537							
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	42,139	40,774	39,321	41,940	42,801							

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っておりません。  
 2. 顧客口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。  
 3. 平成20年5月より代用有価証券の取扱いサービスを開始し、外国為替証拠金取引に使用できる代用有価証券の預り残高が発生しておりますが、現時点では外国為替取引預り証拠金の残高と比べ重要性が小さいため記載を省略しております。  
 4. 平成20年6月から平成25年2月まで外国為替証拠金取引システムのホワイトトラベル提供に伴う実績数値が発生しており、当該数値を以下のとおり取り扱っております。

- (1) 営業収益 : ホワイトトラベル提供に伴うトレーディング収益を含めて表示しております。なお、当該収益の会計処理は、当社グループ会社をカウンターパーティとする外国為替取引に係るトレーディング収益を営業収益として全額計上した上で、当社グループ会社からホワイトトラベル提供先に対して支払うべき外国為替取引に係る手数料を販売費・一般管理費に計上する方法によっております。なお、ホワイトトラベル提供に伴うトレーディング収益と当社グループ顧客との外国為替証拠金取引に伴うトレーディング収益を区分することができないためこれらを区分しておりません。
- (2) 外国為替取引高 : ホワイトトラベル提供に伴い発生する当社グループ会社をカバー取引先とする外国為替取引を含めて表示しております。なお、当該取引高は提供先の重要情報に該当するため区分して表示していません。
- (3) 顧客口座数 : ホワイトトラベル提供に伴う口座数は含まれておりません。
- (4) 外国為替取引預り証拠金 : ホワイトトラベル提供に伴い発生する当社グループ会社がカバー取引先として受け入れる預り証拠金を含めて表示しております。なお、当該金額は提供先の重要情報に該当するため区分して表示していません。

5. 平成21年7月より株式会社大阪証券取引所の開設する取引所外国為替証拠金取引（愛称「大証FX」）のマーケットメイカーとしての業務を開始しており、大証FXにおける取引高及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
6. 平成23年8月より差金決済取引（CFD）の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高（原取引単位を米ドルに換算）及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。

#### < 5月次の概況 >

5月の外国為替市場は、米ドル/円については、1ドル=97円台半ばで取引が始まり、堅調な米国各種経済指標やFRBによる量的金融緩和の縮小期待等を背景にドル高円安傾向で推移し、9日には約4年1ヶ月ぶりとなる1ドル=100円をつけました。その後も、103円後半の水準までドル高円安が進展したものの、23日に日経平均株価が前日比1,000円を超える急落となると、リスク回避姿勢の強まりから一気にドル売り円買いが進展し、軟調な日経平均株価を背景に100円台前半で月末を迎えました。この間の米ドル/円の変動率は、前月の水準を下回ったものの年初来の高い水準が継続しており、平成25年2月並みの水準となりました。また、米ドル/円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨については、米ドル/円に次いで取引が行われているユーロ/円の値動きが昨年夏から秋にかけての相場低迷期並みの水準となるなど、変動率は前月を大きく下回り、米ドル/円を含めた全体としての変動率も前月を大きく下回る水準となりました。

このような状況の中、外国為替取引高は、営業日数が23営業日と前月より1日多かったこともあり、1,855億通貨単位と前月比約4%の減少にとどまりました。一方、営業収益は、相対的に取引高当たり収益性の低い米ドル/円の取引高割合が前月から更に増加したものの、カバー取引手法の継続的改善による収益性の底上げ効果もあり、全体の取引高当たり収益性の低下は前月と比べ微減にとどまったことから、前月比約9%減少の514百万円となりました。また、顧客基盤については、顧客口座数は円安の進行に伴う外国為替証拠金取引への注目の高まり等により顧客口座数は前月比2,359口座増加の218,537口座となり、外国為替取引預り証拠金は、顧客の主要外貨のロングポジション（買建ての建玉）が前月より増加したこともあり前月比860百万円増加の42,801百万円となりました。

以 上